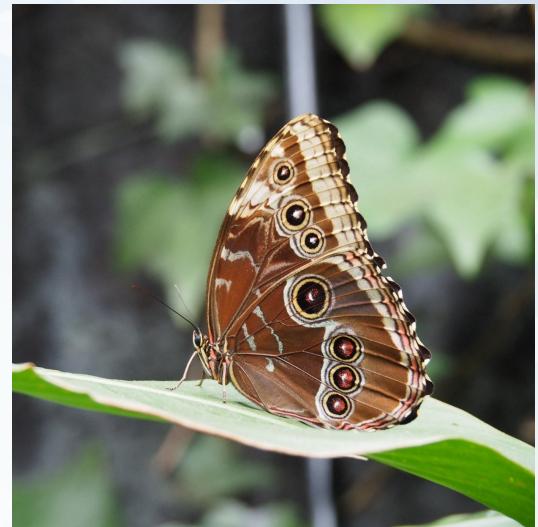


先端的な物理手法と未利用の生物機能を 駆使した**害虫被害ゼロ農業**の実現

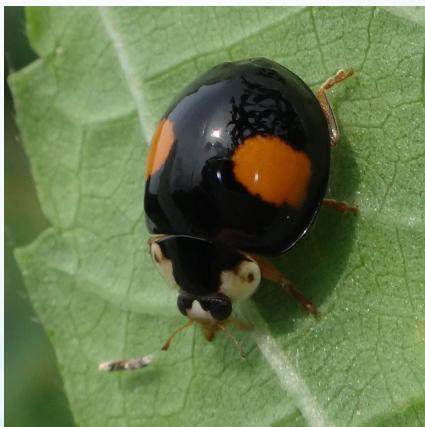
京都大学・日本 典秀



世界は虫たちで あふれている

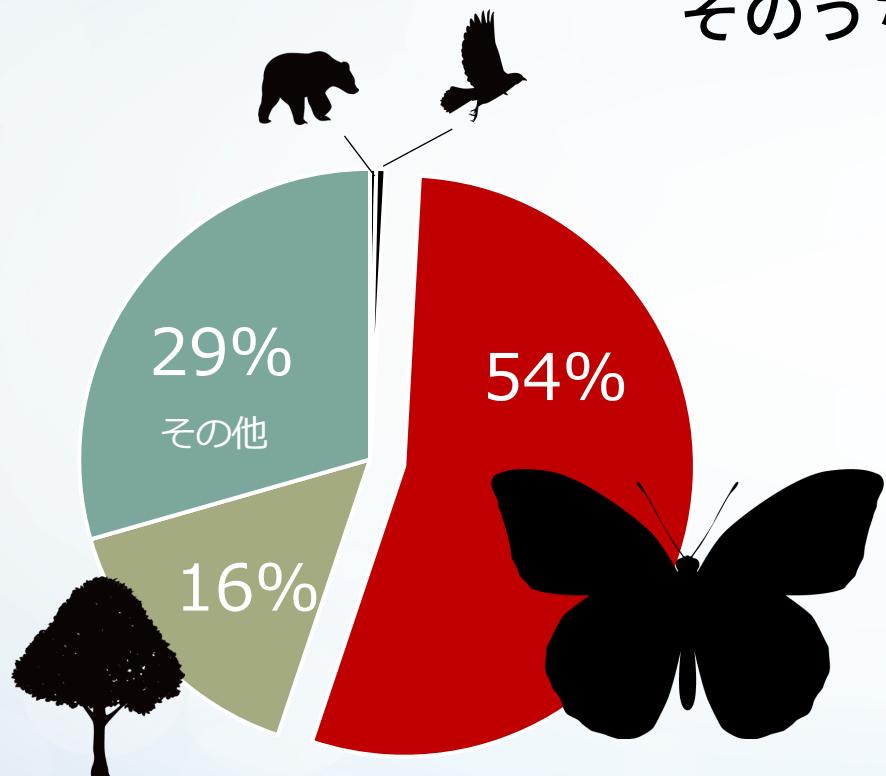


Sánchez-Gómez et al. (2019) Biological Conservation



地球上の総種数：175万種

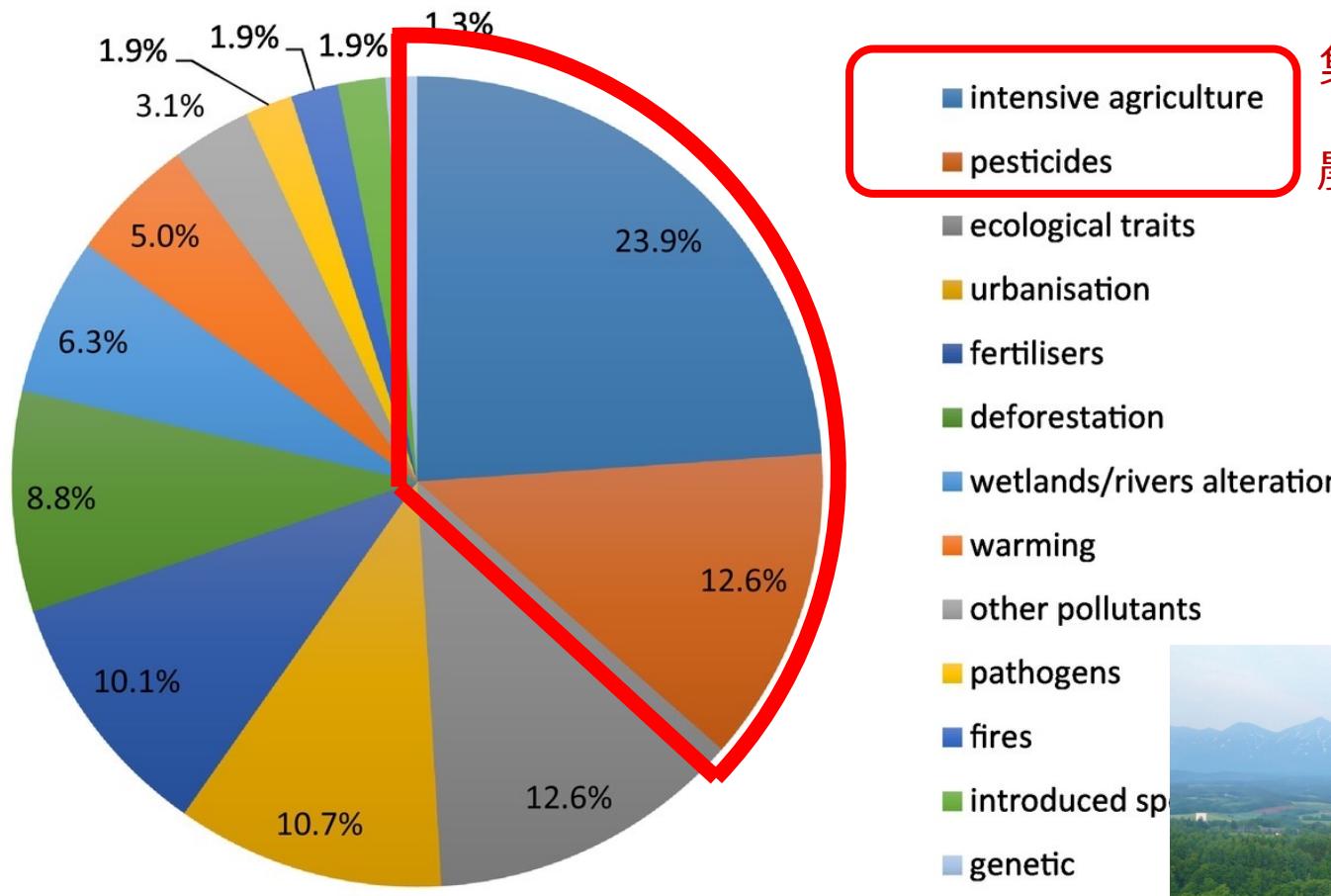
そのうち、**昆虫95万種**



**昆虫の多様性は
生物多様性の指標**

環境省「平成20年版環境・循環型社会白書」より作成

昆虫の減少の要因



集約的農業
農薬



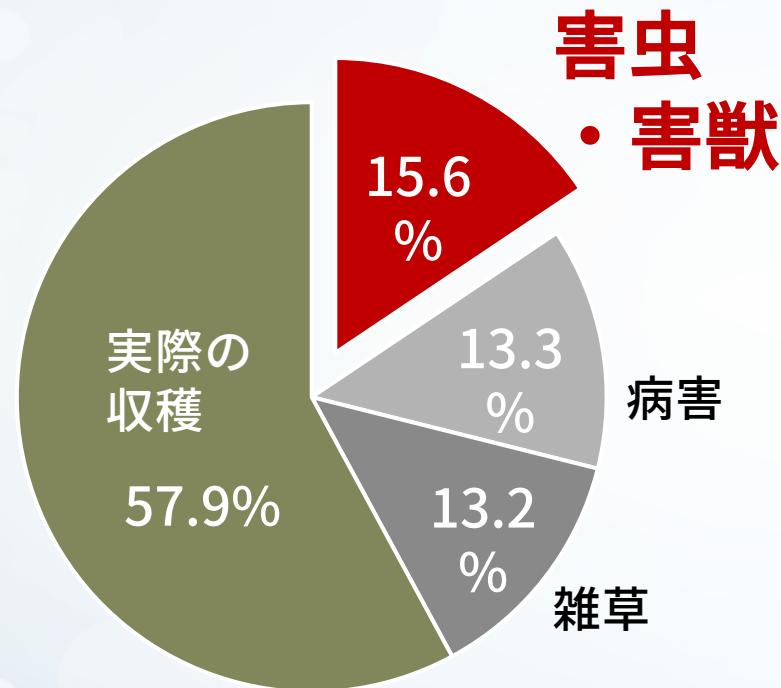
**昆虫の減少の
主な要因は農業！**



病害、害虫、雑草による減収は
世界合計で42%



病害虫雑草被害をなくせば
収穫は1.7倍！

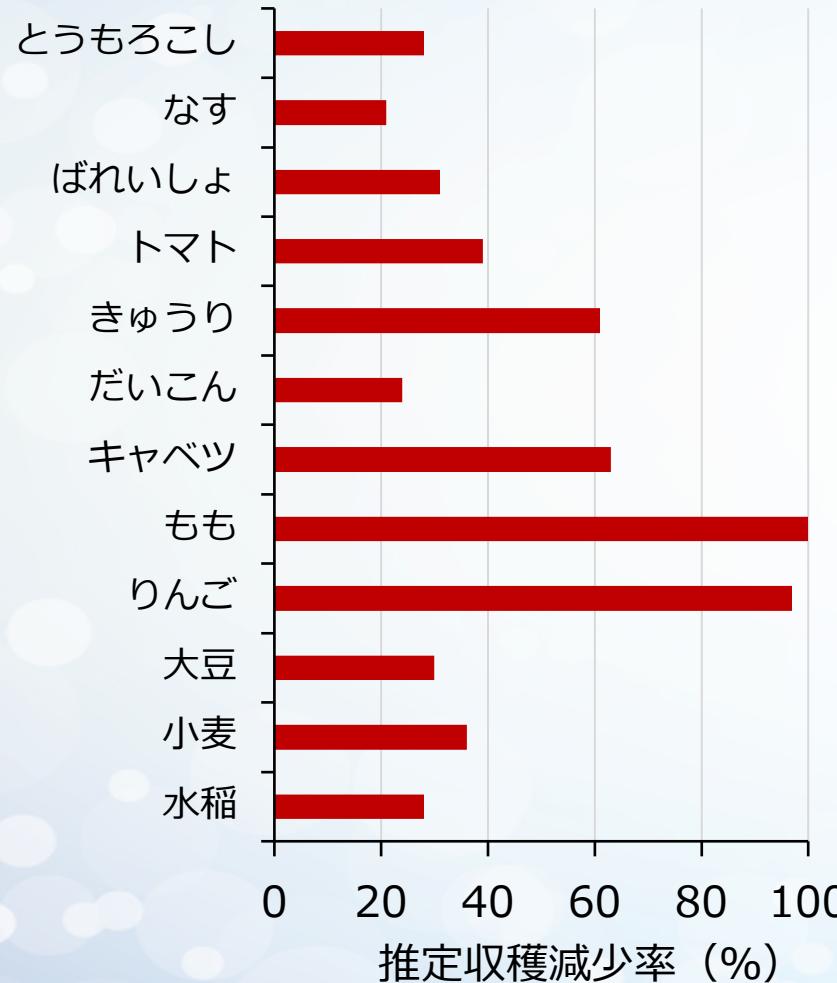


100% = 世界の可能作物生産額(≈165兆円)



農薬って、やっぱり必要？

農薬を使わずに栽培したときの収穫減少率



でも、農薬を使いたくない理由もある。

暑い、しんどい

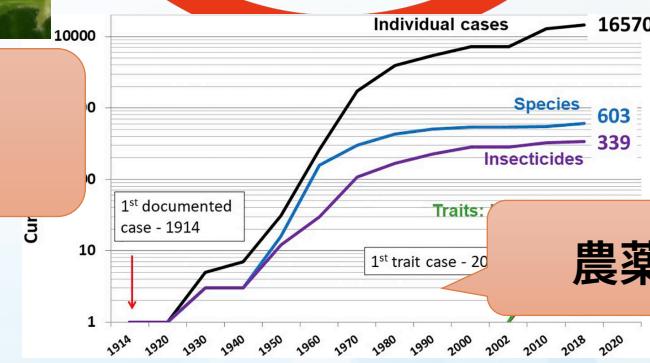


ミツバチが死んでしまう

重労働
受粉昆虫
薬剤抵抗性
環境影響

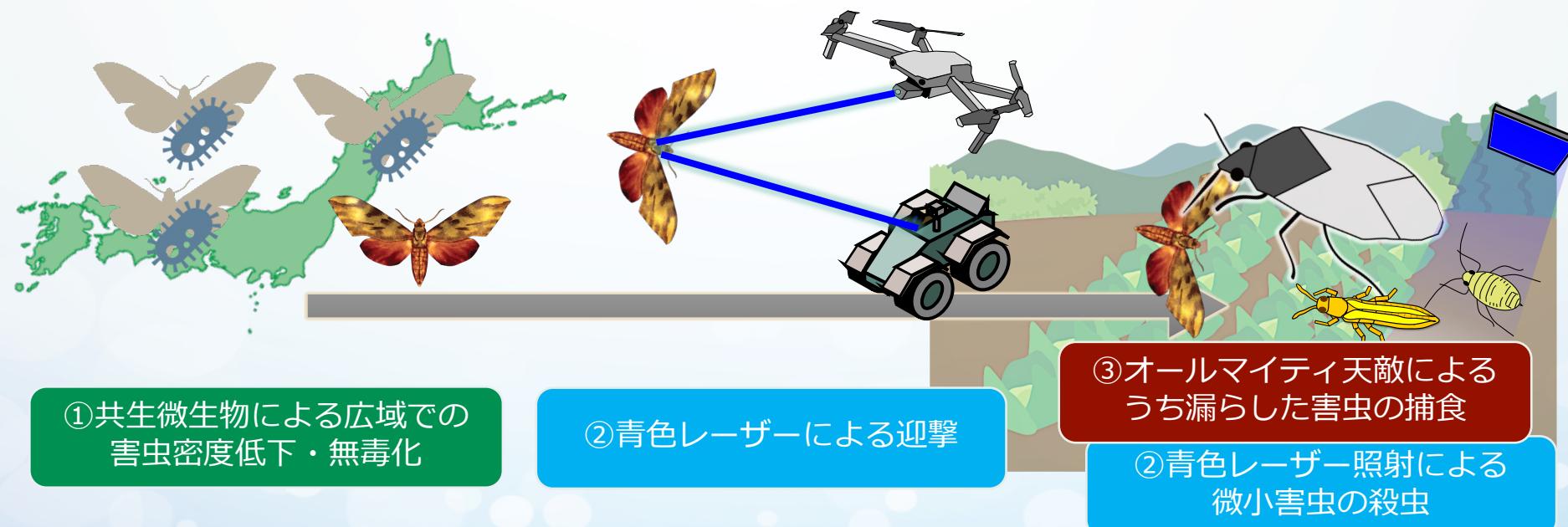


農薬が効かない

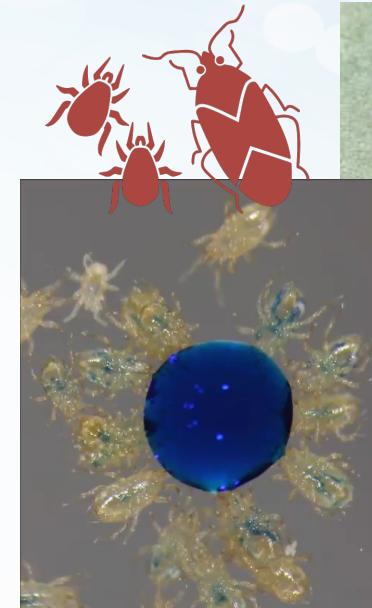
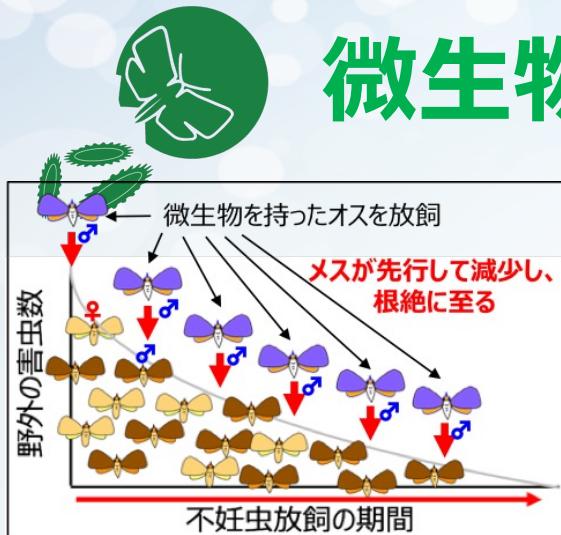


私たちが目指す2050年の農業

3つのステップで、農薬に依存せずに害虫防除！



微生物



天敵

3つのステップで、農薬に依存せずに害虫被害ゼロ！

①共生微生物による広域での
害虫密度低下・無毒化

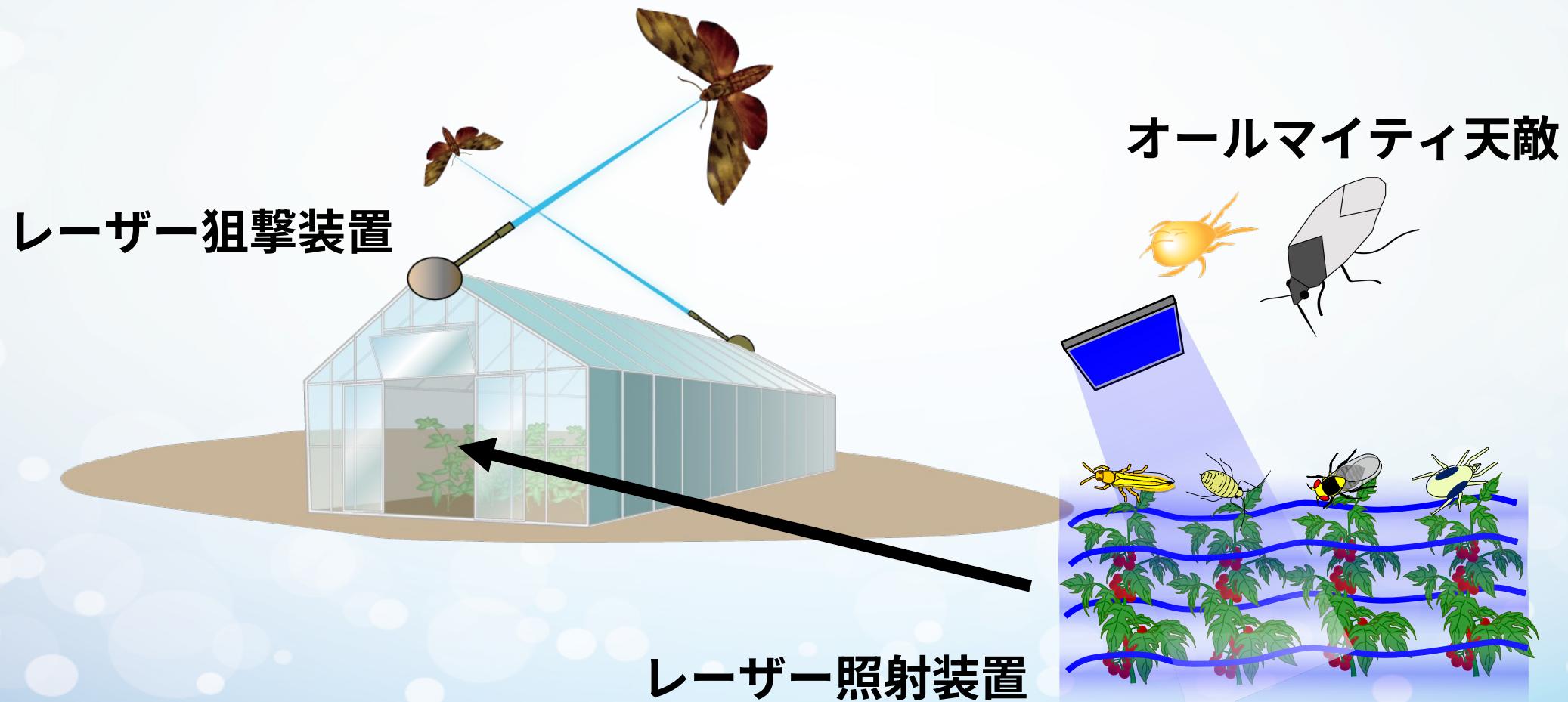
②青色レーザーによる迎撃

③オールマイティ天敵による
うち漏らした害虫の捕食

④青色レーザー照射による
微小害虫の殺虫

2030年までに目指す社会実装

もう、ここまで来ています





2050年を創るムーンショット双方向対話「あなたが決める未来の食と農」

2024年8月20日（火）



これらの技術開発へ、ご支援をお願いいたします

【問い合わせ先：contact@ms505ipm.halfmoon.jp】

